

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

国有林野の活用に当たっては、公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、農林業を始めとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付けや売払い、共用林野の設定等を行っています。令和 7 (2025) 年度末現在で 7.2 万 ha の貸付け等を行っており、農地や採草放牧地が約 1 割、道路、電気・通信、ダム等の公用、公共用又は公益事業用の施設用地が約 5 割を占めています。また、東日本大震災からの復興のため、汚染土壌の仮置場等として、国有林野の無償貸付け等を引き続き行っています。



国有林野の活用

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/gaiyo/kasituke/kokuyuurinyanokatsuyou.html

表－19 国有林野の用途別貸付け等の状況 (単位：ha)

区 分	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年 度	令和 7 (2025) 年度
農耕・採草放牧地	9,973 (14)	10,221 (14)	10,172 (14)
道路敷	14,593 (20)	14,710 (21)	14,749 (20)
電気・通信事業用地	17,385 (24)	17,639 (25)	17,750 (25)
ダム・堰堤敷	3,381 (5)	3,373 (5)	3,371 (5)
森林空間総合利用事業用地	8,893 (12)	8,889 (12)	8,884 (12)
その他	17,323 (24)	17,099 (24)	17,063 (24)
合 計	71,547 (100)	71,931 (100)	71,990 (100)

注 1：面積は、各年度末現在の数値である。

2：貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。

3：()書は、合計に占める用途別の比率(%)である。

4：計の不一致は、四捨五入による。

表－20 国有林野の用途別売払い状況 (単位：ha)

区 分	令和 5 (2023) 年 度	令和 6 (2024) 年度	令和 7 (2025) 年度
所管換・所属替	206 (80)	17 (30)	42 (66)
公用・公共事業用	50 (19)	39 (70)	22 (34)
その他	1 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	257 (100)	56 (100)	64 (100)

注 1：売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。

2：()書は、計に占める用途別の比率(%)である。

3：計の不一致は、四捨五入による。

事例 20 地域振興のための国有林野の活用

(関東森林管理局 茨城森林管理署)



- 茨城県東茨城郡城里町 御前山国有林
- (左)あすまやが整備された眺望の良い鐘つき堂跡(令和7(2025)年8月)
- (右)貸付区域を確定させるための現地調査(令和7(2025)年1月)

国有林野事業では、地域振興に貢献するため、地方自治体や地域住民等のニーズを踏まえ、国有林野の貸付けや使用許可等を行っています。

茨城県内の国有林約4万5千haを管理経営している茨城森林管理署管内には、アクセスの良い低山が分布していることから、多くの入山者が訪れます。同署は、白鳥やホタルが見られる笠間市の北山公園や、吊り橋からの新緑や紅葉の眺めで人気の高萩市の花貫溪谷^{はなぬきけいこく}一帯の森林などを、遊歩道やキャンプ場等の用地として地元自治体に貸し付け、ハイキングや観光などに活用しています。

令和7(2025)年度は、茨城県城里町から、御前山登山口付近にある道の駅のリニューアルに合わせて、登山ルートを整備したいとの意向を受け、登山道敷地等として国有林野約4千m²の貸付契約等を行いました。同町では、登山道や休憩小屋(鐘つき堂跡)の刈払いなど、来訪者が安全に登山を楽しむための環境整備が進められています。

同署では、引き続き、地域産業への振興に資する国有林野の活用に向け、積極的に取り組んでいくこととしています。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国有林野事業では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林 562 か所を「レクリエーションの森」として国民の利用に供しており、令和 7 (2025) 年度は、延べ約 1.3 億人の利用がありました。

また、全国の「レクリエーションの森」のうち、特に景観等の優れた 93 か所を「日本美しい森 ^{にっぽんうつく} お薦め国有林」として選定し、動画や SNS を活用した多言語による情報発信を行うとともに、重点的な環境整備等に取り組んでいます。

さらに、「レクリエーションの森」と国立公園が重複している箇所のうち、知床、日光、屋久島等を重点地域等とし、環境省との連携を強化して、保護と利用の両立を図りながら利用環境の整備を推進するなど、更なる利便性や安全性の向上に取り組んでいます。

表－21 レクリエーションの森の現況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千 ha)	利用者 数 (百万人)	代表的なレクリエーションの森(都道府県)
自然休養林	79	94	22	たかおさん 高尾山(東京), あかさわ 赤沢(長野), つるぎさん 剣山(徳島), やくしま 屋久島(鹿児島)
自然観察教育林	84	21	15	しらかみさんち 白神山・暗門(青森), あんもん 暗門(青森), きんかざん 金華山(岐阜), あかさい 赤西(兵庫)
風景林	141	62	60	えりも(北海道), あしのこ 芦ノ湖(神奈川), あらしやま 嵐山(京都)
森林スポーツ林	25	3	2	つくばさん 筑波山(茨城), たきごし 滝越(長野), おうぎのせん 扇ノ仙(鳥取)
野外スポーツ地域	160	49	19	てんぐやま 天狗山(北海道), うらばんだい 裏磐梯デコ平(福島), だいら 滝谷・大成山(兵庫)
風致探勝林	73	13	8	ぬくみ 温身平(山形), こまがたけ 駒ヶ岳(長野), にじ 虹の松原(佐賀)
合 計	562	243	126	

注 1 : 箇所数及び面積は令和 8 (2026) 年 4 月 1 日現在の数値であり、利用者数は令和 7 (2025) 年度の推計値である。

2 : 計の不一致は、四捨五入による。

レクリエーションの森



https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html

事例 21 地域と連携したミヤマキリシマの保全活動

(九州森林管理局 長崎森林管理署)



- ・長崎県 雲仙市 千々石温泉岳国有林
- ・(左)ミヤマキリシマと放牧牛(令和8(2026)年5月)
- ・(右)ミヤマキリシマの保全活動の様子(令和7(2025)年5月)

「日本美しいの森 お薦め国有林」に選定されている田代原風致探勝林には、九州地方の高山で代表的な景観であるミヤマキリシマの群落広がっています。かつては放牧が盛んに行われ、牛が食べないミヤマキリシマが群落を形成していましたが、放牧地の減少に伴って他の草木が繁茂するようになり、日陰では育ちにくいミヤマキリシマの群落は縮小傾向にあります。

長崎森林管理署では、NPO 法人や県・市、農業協同組合で構成される「雲仙田代原レクリエーションの森運営協議会」と連携し、毎年数回ミヤマキリシマの保全活動を行っています。

令和7(2025)年度は、長崎大学の現地実習に同署の職員を講師として派遣し、草原保全に関する講義や、草刈り実習の指導を行うなど、地域一体でミヤマキリシマの保全活動の普及に取り組みました。また、協議会メンバーとともに、地元の銀行や企業の職員が保全活動に協力し、ミヤマキリシマ周辺の草刈りを実施しました。参加者からは、「放牧されている牛と草原ときれいな花、奥に見える九千部岳という風景が綺麗だった」など、保全活動への参加が有意義であったとの感想が寄せられました。

同署では、引き続き、国民がレクリエーションや観光を楽しむことができる豊かな自然環境の保全に向けて取り組むこととしています。



四国森林管理局

みうね
三嶺風景林



九州森林管理局

おおこ
大川の滝風景林